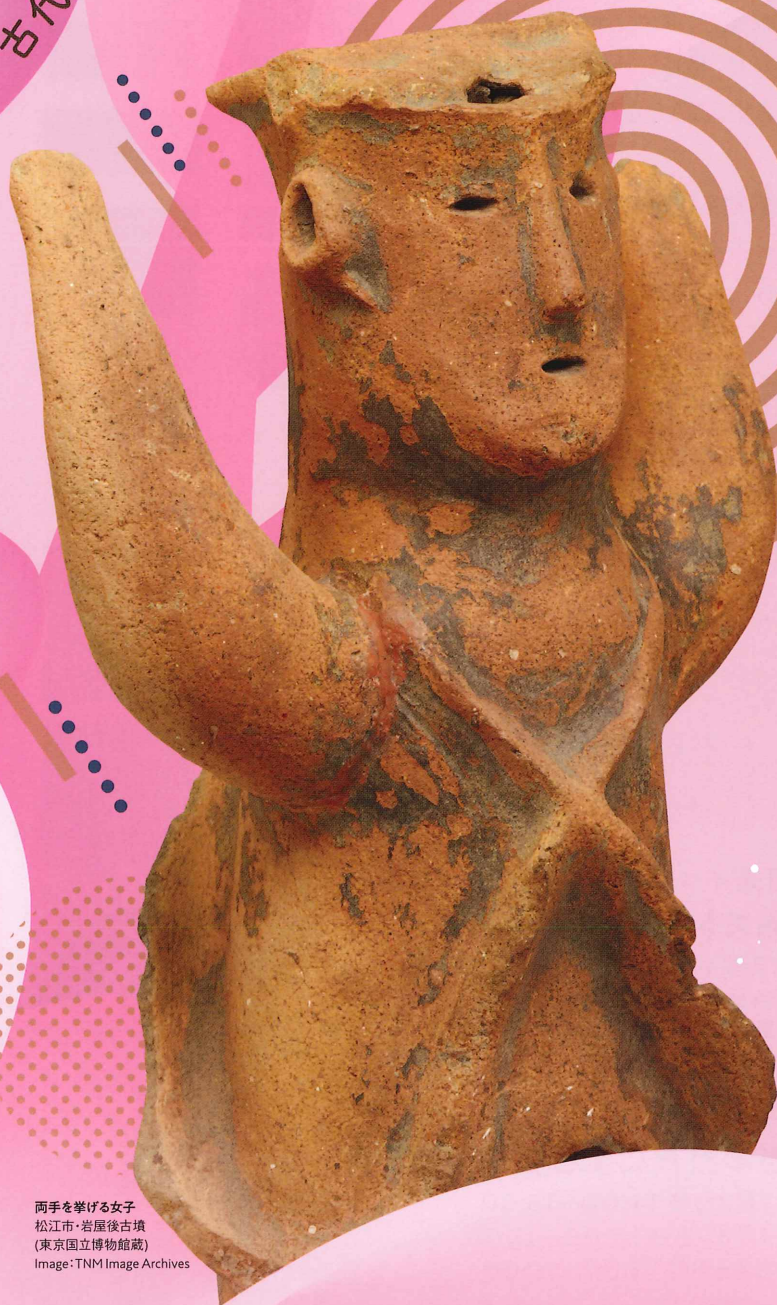


古代人が生んだゆるカワ文化。

開館15周年記念特別展

ゆるカワの世界へ



両手を挙げる女子
松江市・岩屋後古墳
(東京国立博物館蔵)
Image:TNM Image Archives



鹿【重要美術品】
鳥取県・土下213号墳(鳥取大学蔵)
鳥取県立博物館保管

welcome to KANIIWA world.

令和4年 7月1日(金) → 8月28日(日)

古代出雲歴史博物館 特別展示室 出雲大社東隣り

開館時間：午前9時～午後6時 | 会期中の休館日：7月19日(火)、8月2日(火)

- (一般：特別展1,000円(800円) 常設展とのセット券1,310円(1,040円)
大 学 生：特別展 500円(400円) 常設展とのセット券 700円(560円)
小 中 高 生：特別展 300円(240円) 常設展とのセット券 400円(320円))

※WEB限定前売り券については、ホームページをご覧ください。※()内は20名以上の団体観覧料です。
※障がい手帳または障がいアプリをお持ちの方はご提示ください。保持者及び介助者1名は無料になります。



島根県立古代出雲歴史博物館 〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
Shimane Museum of Ancient Izumo TEL.0853-53-8600 <https://www.izm.ed.jp>



【主催】島根県立古代出雲歴史博物館 【特別協力】国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館
【後援】朝日新聞松江総局、産経新聞社、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、テレビ朝日松江支局、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、出雲ケーブルビジョン、山陰ケーブルビジョン、ひらたCATV株式会社

猿【大山町指定文化財】
鳥取県・ハンボ塚古墳(大山町教育委員会蔵)



『日本書紀』には、出雲国出身の野見宿禰が、殉死に代わり人や馬などの「土物」を墓に立てよう進言した、という埴輪の起源説話がみえます(垂仁32年7月己卯条)。この逸話は、考古学的な事実と必ずしも一致するものではありませんが、古墳に立てられた埴輪の存在は、古代の人々にとっても関心事であったことがうかがえます。

古墳上に埴輪を立て並べる習慣は、前方後円墳が全国的に築造されはじめるのにあわせて各地に広まりました。古墳時代後期には、古墳の一角を区切り、様々な埴輪を並べ、被葬者の生前の活躍や首長継承のまつりを再現するようになります。こうした物語の主役である埴輪は、より表情豊かで多彩なものへと変化しました。

この展覧会では、山陰出土の形象埴輪を中心に、人物や動物などをかたどった様な埴輪を展示します。制作時期や地域による特徴や違い、といった考古学的な点だけでなく、個々の埴輪が持つ造形としての面白さにも注目してください。さあ、この夏はハニワの世界を探検してみましょう。

welcome to HANIWA world.

プロローグ ハニワの世界へようこそ

山陰出土の埴輪をてがかりに、その起源や種類、特徴を紹介します。

第1章 牧に集う馬たち

古墳時代、馬は有力者にとって力の象徴でもありました。細かく再現された馬具、でもなんだか「ゆるカワ」な表情が愛らしい。そんな馬たちが集合します。

第2章 ハニワ動物園

埴輪の中には様々な動物をかたどったものが見られます。鹿や猿、鶏、水鳥などの埴輪は、一体何を意味していたのでしょうか。

第3章 ハニワになった人々

数ある埴輪の中でも、人物埴輪はその服装や持ち物、髪型や表情など見所がたくさんあります。あなたの「イチオシ」はどれですか？

第4章 器財のハニワ

これは一体何の埴輪？
器財埴輪にはそんな究極のデフォルメが生かされています。「ゆるカワ」だけではない、古代人の発想力を楽しみましょう。

エピローグ 岩佐 新とハニワの世界

帽子を被る男子【島根県指定文化財】
奥出雲町・常楽寺古墳(奥出雲町教育委員会蔵)



大刀
神奈川県・瀬戸ヶ谷古墳
(東京国立博物館蔵)
Image:TNM Image Archives

〔関連講座〕

第1回 「(仮)ハニワの世界へようこそ 関東の埴輪」

7月2日 10:00~11:30

講師：河野正訓(東京国立博物館調査研究課考古室主任研究員)

第2回 「(仮)ハニワの世界へようこそ 山陰の埴輪」

7月30日 13:00~14:30

講師：林 弘幸(益田市教育委員会文化財課 副主任主事)

第3回 「(仮)ハニワの世界へようこそ 埴輪四方山話」

8月6日 10:00~11:30

講師：増田浩太(島根県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員)

オンラインで同時配信します。詳しくはホームページをご覧ください。

〔関連講座共通〕

会場：島根県立古代出雲歴史博物館 講義室

定員：60人 参加費：無料

〔関連イベント〕

埴輪ストラップをつくろう

※同日開催「れきはく夏まつり」で実施します

7月24日 10:00~13:00

場所：島根県立古代出雲歴史博物館 体験学習棟

定員：午前／午後 各15名 料金：400円

〔特別展ギャラリートーク〕

担当学芸員による展示解説

第1回 7月2日 14:00~15:00

第2回 7月30日 10:00~11:00

第3回 8月6日 14:00~15:00

※参加には企画展観覧券もしくはバスポートが必要です。

※当日時間までに特別展示室入口付近にお集まりください。

定員：午前／午後 各20名



馬【重要文化財】
埼玉県・熊谷出土
(東京国立博物館蔵)
Image:TNM Image Archives

関連講座・関連イベント・特別展ギャラリートーク

●お申し込み方法 | 電話・FAX・ホームページのイベント参加フォーム(しまね電子申請)のいずれかで事前にお申し込みください。

●お申し込み先 | TEL. 0853-53-8600 FAX. 0853-53-5350 <https://www.izm.ed.jp>

※【個人情報の取り扱いについて】 この申し込みによって収集した個人情報は、島根県の規定に従って取り扱い関連講座・関連イベント・特別展ギャラリートーク座開催の目的にのみ利用するほかは、法令に定めがある場合を除いて、第三者に提供することはありません。

※お知らせ：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入館にあたっては、マスクの着用、手指消毒、間隔をあけた観覧など感染防止対策を講じています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
※新型コロナウイルス感染症の状況により日程の変更及び中止になる場合がございます。最新の情報は当館ホームページにてご確認ください。



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701

島根県出雲市大社町杵築東99-4 出雲大社東隣り
TEL.0853-53-8600 <https://www.izm.ed.jp>



- 山陰道「出雲IC」から国道431号線経由で約20分
- JR出雲市駅から一畑バス「出雲大社・日御碕」行き乗車(約25分)「正門前」降車、徒歩約2分
- 一畑電車「出雲大社前駅」降車徒歩約7分
- 出雲空港から空港連絡バス「JR出雲市駅」行き(約25分)
※JR出雲市駅からは一畑バス、一畑電車をご利用ください